公益財団法人豊田市文化振興財団
令和８年度第１回文化振興委員会

令和８年５月２６日（火）午後２時
豊田市民文化会館　会議室Ａ

（　次　　第　）

１　あいさつ

２　前回の委員会
（１）会議録の確認
・令和７年度　第３回文化振興委員会　会議録…３～６

３　報告事項
（１）令和７年度事業視察報告について
①とよた演劇ファクトリー（文化事業課）…７
②文化な日（文化事業課）　…８
③とよた演劇祭（文化事業課）　…９
④豊田市民文化会館５０周年記念事業（文化事業課、市民文化会館）
…１０～１１

（２）令和７年度事業報告について
・文化事業課事業総括
・市民文化会館事業総括

（３）令和８年度事業計画について
・文化事業課事業計画
・市民文化会館事業計画

４　協議事項
（１）令和８年度事業視察について

５　その他

次回の委員会
日　時　　令和８年９月　　日　（　　）　　時
場　所　　豊田市民文化会館（予定）

【文化振興委員】　任期／令和７年度～令和８年度　　（五十音順）

氏　名	区分	所属等
畔柳　隆二	豊田市代表	豊田市魅力創造部　文化振興課長
小出　充訓	学識経験者	愛知県芸術劇場　企画制作部 企画制作第二グループ　シニアマネージャー
清水　裕之	学識経験者	名古屋大学名誉教授
新原　浩美	市民代表	市民代表
半田　将仁	学識経験者	可児市文化創造センターala　創造事業課　主査
物部　浩子	学識経験者	書家、豊田書道連盟　理事

【オブザーバー】

氏　名	役　職
豊田　彬子	（公財）豊田市文化振興財団　理事長
藤本　　聡	（公財）豊田市文化振興財団　専務理事

【事務局】

氏　名	役　職	委員担当
猿谷　直記	文化部　部長	清水委員、物部委員
原田　秀樹	文化事業課　課長	畔柳委員
加藤　祐二	文化事業課　副主幹	新原委員
山下　明男	市民文化会館　所長	半田委員
梅村　陽子	市民文化会館　副所長	小出委員

令和７年度　文化事業課　事業報告

【事業ラインナップ】※共催は豊田市との共催事業　　自主は財団自主事業（自己財源事業）　　【重点施策・日付順】

R8.4.22

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	期日（予定）	会場	人数(単位:人) 目標		人数(単位:人) 結果	予算(単位:千円) 予算	予算(単位:千円) 決算	コメント
1	共催	小倉百人一首かるた第63回全日本選手権大会・かるフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。	４月27日(日)	名鉄トヨタホテル参合館	来場者	630	765	2,085	2,031	大会の特性上、誘客の難しさと知名度の低さから、事業の魅力を伝えることの難しさがある
2	自主	（新規） クラフト公募展	普及・啓発	工芸作家と愛好家が一堂に会して作品発表を行い、活動の活性化と交流連携を図る（支援事業）。	５月23日(金) ～25日(日)	文化会館　A展	出展者	80	59	0	0	主体的な実施団体が、自身でも展覧会を開催しているため、今後はそれとのすみわけを相談していく【隔年】
3	共催	とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など将棋の普及を図る機会を提供する。	６月21日(土)	文化会館　A展	参加者	128	105	1,280	1,221	参加者の減少および市内参加者が少ないこと、また、他市でも開催しているため事業廃止【廃止】
4	共催	秋季市民茶会	普及・啓発	お点前のレクチャーを行うなど市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	11月23日(日)	美術館	来場者	340	348	694	700	作法を英語で通訳することや、やさしい日本語を使ったチラシなど、外国人にも参加しやすい工夫をした
5	自主	県文連美術展	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る（文化団体出品協力事業）。	1月20日(火)～ 25日(日)	愛知県美術館	出展者	10	2	6	5	50周年であったため、新たに写真部門を追加したが、全体を通じて出品数の増加にはつながらなかった
6	自主	県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。７年度は刈谷市開催。	3月15日(日)	刈谷市	出演者	1	1	70	70	他市と出演団体のジャンルが被らないように選定した
7	共催	とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	アート縁日： 8月1日(土) まちなか芸術祭： 10月14日(火)～ 26日(日)	アート縁日： 地域文化広場 まちなか芸術祭： 駅前周辺	登録者	20	135	5,504	5,599	市民が主体的に実施することをテーマに活動してきたが、そこで得たノウハウやつながりを、新たな事業にも取り入れ、豊田らしい事業を組み立てることが重要【統合】
8	自主	とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する（支援事業）。	３月７日(土) ・８日(日)	怒田沢町農村舞台	来場者	200	74	200	200	地域資源と演劇の特性を活かした作品作りに挑戦【廃止】
9	共催	文化な日（旧おいでんアート体験フェア）	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	3月1日(日)	スカイホール豊田	参加者	2,000	6,304 (2,104)	5,386	5,596	WE LOVEとよたとの同時開催による相乗効果により、新たな客層を見込む
10	自主	令和７年度豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化振興や青少年健全育成、地域振興に業績を挙げた功労者を表彰する。	６月１日（日）	文化会館	来場者	400	684	2,463	2,325	地元活動者へのリスペクトとつながり、今後の活躍を期待し発信する
11	共催	とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。	通年	各所	応募者	12組	21組	6,000	5,098	新たな事業へ移行するため、事業を廃止するが、ノウハウやつながりは継承したい【統合】
12	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する。	５月～２月 公演２月21・22日	文化会館 小ホール他	参加者	25	19	5,405	5,078	多文化共生を取り入れたカリキュラムを実施し、地域課題にも意識できるように工夫した
13	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	５月～11月 公演11月16日(日)	文化会館	参加者	40	35	5,060	4,777	演劇を通じて表現の楽しさや舞台に立つ経験、また、学校外の居場所づくりや他者へ共感できるよう実施
14	共催	文化活動者派遣事業(アウトリーチ事業)	教育	小・中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する。	９～1月	市内各小中学校	参加校	40校	37校 57プログラム	1,728	1,534	新規プログラムの開拓に取り組んでいく
15	共催	吹奏楽フェスティバル2025	教育	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する（支援事業）。	11月2日(日)	文化会館	参加団体	15	14	200	200	先生の働き方改革や部活動の地域移行など、今後の主催者の動向を注視する
16	共催	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	通年 定演12月14日(日)	定期演奏会: コンサートホール	団員数	120	101	10,401	10,065	浜松市の合唱団とのつながりを通じて、活動内容の見直しの参考としていく
17	共催	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	通年 定演３月22日(日)	定期演奏会: スカイホール	団員数	130	111	33,618	28,201	設立30周年を迎え、記念の定演の実施、および、地元への活動に注力していく
18	自主	農村舞台アートプロジェクト2025	地域創生	農村舞台を会場として、シンポジウムとライブ公演を開催し、地元民と外国籍の方が文化を通じて交流を図る。	11月8日(土)	深見町磯崎神社	参加者	200	187	2,520	1,959	農村舞台ではあまり観ることのない舞台内容だったが、地元住民には好評であった【統合】
19	自主	イルミネーションストーリー2025 inとよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う（支援事業）。	11月～1月	豊田市街地	ー	ー	ー	30	30	中心市街地の活性化に協力した
20	自主	村山哲豊田芸術選奨受賞記念展	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。	５月28日(水)～ 6月1日(日)	文化会館	来場者	900	1,291	1,289	1,052	地元出身の実力ある作家について、市内外に大きく発信することができた
21	自主	（新規） 豊田東名ライオンズ50周年記念事業	鑑賞	梯剛之ピアノチャリティコンサートの開催について、PRや当日運営の支援（支援事業）	9月14日(日)	文化会館	来場者	1,700	900	0	0	市民が主催するイベントについて、財団がもつスキルを活かしながら支援できた【単年事業】

22	自主	（新規） 長谷法寿豊田芸術選奨受賞記念展準備	鑑賞	令和８年５月に開催する記念展の事前準備（事業PRおよびその宣材収集、打合せなど）	R8.５月	文化会館	―	―	―	209	317	早めから準備することで、作家の意向を踏まえた展覧会を開催できる
23	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、X、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	通年		投稿数	SNS/月 20×３種 ×12月	566 （3月現在）	0	0	Facebook199、X185、Instagram182 （3月現在）
24	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催される文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報提供を行う	季刊		発行 部数	5,000 ×４季	5,000 ×４季	3,299	2,943	本紙を廃止すると紙での情報誌がなくなるため、高齢者への発信方法の検討が必要
25	自主	西三文協連絡協議会　県文連総会	貸館	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。	４月23日(水) ５月28日(水)	みよし市 名古屋市	―	―	―	65	65	西三河地域との唯一の繋がりであるが、どの協会も高齢化・会員減少が課題である
26	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	通年		応募者	12組	9組	440	441	少し幅広く周知をした結果、新たな団体が実施頂いた
27	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのＰＲ補助などを行う。	通年		―	―	―	0	0	常に業務改善を意識し、丁寧な対応に務める
28	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。	通年		―	―	―	0	0	協議会役員・委員の世代交代が課題
29	自主	音楽練習場運営	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。	通年		特定 団体	6団体	6団体	201	201	長期的に継続利用できるか課題
30	自主	文化会館　開館50周年記念事業	貸館	文化振興課・市民文化会館・文化事業課で企画し、文化会館全館を使ったイベントを開催する。（協力事業）	3月21日(土)	文化会館	―	―	―	0	0	業務分担を通じて協力・支援【単年事業】

令和７年度　市民文化会館　事業報告

【事業ラインナップ】

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	期日	会場	予算案（千円）	目標参加人数他	人数（単位：人） 目標		人数（単位：人） 結果	収支（単位：千円） 支出予算	収支（単位：千円） 収入決算	収支（単位：千円） 支出決算	コメント
1	自主	新規【一般向け事業】 ゴスペラーズ　コンサート	鑑賞	日本を代表する男性アカペラボーカルグループによるコンサート。30周年記念祭（コンサートツアー）が2024年12月から始まる。メンバー一人が愛知県出身であり、故郷の会場として豊田市に登場する。	5月18日	大ホール	500	1,700	来場	1,700	1,626	500	377	462	全国的に人気のあるアーティストの公演であり、ファンクラブ会員と一般客を交互に配席したことにより、一般客もより公演を楽しむことができ、アンケートも満足度の高い評価となった。一方で、経費負担や広報について見直しが必要である。今後は、会館側のリスクを抑えつつ、事業実施による成果が適切に還元されるよう、運営方法の改善に取り組んでいきたい。
2	自主	【一般向け事業】 宝塚歌劇団公演	鑑賞	宝塚歌劇団による全国公演。 ※当館が歌劇団が希望する劇場の機能を持ち合わせている。 県内では他に愛知芸術劇場のみ。	5月17日	大ホール	620	3,400	来場	3,400	3,400	620	800	800	昨年度と同様にお客様から大きな反響を受け、市内外問わず多くの方々から心待ちにされていた事業なのだと実感した。お手洗いや駐車場の混雑は避けられないが、待機列整理や小ホールのお手洗い開放など、前回の公演を通して得た対策を基に先回りして対応し、限られたスペースを最大限活用することができた。今後も継続的に実施することで、文化会館や豊田市の魅力向上が期待できるだろう。
3	自主	【こども向け事業】 劇団四季ファミリーミュージカル	鑑賞	劇団四季の提供するファミリーミュージカルの公演。費用対効果を上げるため、豊田市、劇団四季、財団と三者契約のうえ「豊田市こころの劇場」と同演目を2日連続開催。	7月21日	大ホール	4,664	1,200	来場	1,200	1,234	4,664	6,123	6,123	「こころの劇場」と連携し親子向けの公演を経費を抑えつつ実施できた。今回はPR方法に工夫し、郵便局、スーパーマーケットなど親子連れの目に留まりやすい場所にポスターを掲示した。アンケートにより一定数の効果があったことが判明している。
4	自主	【演芸・芸能事業】 とよた寄席	鑑賞	東西の人気落語家による落語会。市内の落語愛好団体と共働で開催する。	1月24日	小ホール	1,509	400	来場	400	312	1,509	1,269	1,299	市内の落語愛好団体と連携しての公演。独立採算で実施するため入場料収入がカギとなる。入場料の設定と、新規の顧客をいかにつかむかの工夫が必要。
5	自主	【地域記録事業】 とよた定点観測	地域創生	４月１日に定められた場所でのビデオ撮影や、年間を通して定められた場所で写真撮影を行い、豊田市の変遷を記録する。	映像：4月1日 写真：通年	映像：豊田市駅周辺 写真：市内各所（定点）	100	―	―	―	―	100	0	70	記録のアーカイブ化と活用方法を検討する必要がある。
6	共催	【市民参加事業】 豊田市民アート展	普及・啓発	連盟・協会や財団会員のグループ・個人が一堂に会し、共に作品を展示する。	5月29日 ～6月8日	展示室A・B・C・D 多目的ホール	394	出展　60	出展	60	出展　117 来場　1,605	394	302	302	今年度も財団大会と日程をあわせたことで十分な集客ができた。会館の展示室CD、多目的ホールを知っていただくという目標が達成だきたので、今回でこの事業は終わりとする。
7	自主	【市民参加事業】 歳末チャリティ作品展	社会包摂	豊田市を拠点に活動するアーティストから提供されたアート作品の展示即売を実施し、その収益を社会福祉のための寄附に充当する。 豊田市文化団体協議会の協力を得て実施する。	12月20日 ～21日	展示室A	937	出展　120	出展	120	出展　66人＋13団体 来場　896	937	590	590	作品を提供いただく文化団体会員の高齢化、事業の経費の持ち方などの変化に対応し、出展者・来場者ともに満足できる開催方法を継続の可否もふまえスクラップアンドビルドで検討する。
8	自主	【施設利用推進事業】 舞台お困りごと相談窓口	利用促進	初めて（久しぶりに）施設を使う人、利用を考えている人の背中を押す事業。事業実施迄に必要な内容（施設使用料金・企画・申込み・打合せ等々）のアドバイスやノウハウの提供、施設見学をパッケージして利用者の支援をする事業。	通年	―	4	30	来場	30	4月～１月 49件	4	0	3	毎月実施。初めての利用者に対して、現場の見学やきめ細かい説明をすることにより、スムーズなイベント開催を支援している。
9	自主	【施設利用推進事業】 げきじょうたんけんツアー	普及・啓発	文化活動の拠点施設の「うらがわ」を子どもたちに体験してもらうミステリーツアー。会館の裏側を探検する機会を通して、舞台芸術の現場やそこに携わる仕事の数々をこども達が知る機会とし、こども達が自らの将来を考える上で選択の幅を広げるきっかけとしたい。	8月16日 ・1月10日	大ホール 小ホール	147	60	来場	60	8月 20組49人 1月 18組39人	147	0	135	夏休み、冬休みの2回、開催。両日ともにストーリー仕立てとし、映像を活用するなど、参加者が楽しめるよう工夫した。
10	受託	【市民交流事業】 つながリビング事業	地域創生	館内カフェのフリースペース「つながリビング」を活用し、交流を創出するワークショップや展覧会、ミニコンサート他を開催。 ※「お手軽映像制作講座」（スマホでアニメ）を含む。	通年	つながリビング	628	950	来場	950	136事業 3,391人	628	0	376	多様な催しが多くの人々に気軽に文化に親しむ機会になっている。会場からもれ聞こえる音楽や拍手などが会館ににぎわいを創出している。
		【市民参加事業】 お手軽映像制作講座	利用促進	スマートフォンを使った簡単映像制作のワークショップを開催。制作映像のYouTube投稿や家族・仲間での楽しみの機会に繋げる。№14映画文化醸成事業に組み込むことも検討中。	1月～3月				来場		―		―	―	映画文化醸成事業に組み込み、こども向け事業を実施
11	自主	【鑑賞機会創出事業】 とよた☆あしながプロジェクト	社会包摂	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供し、家族のコミュニケーション機会の創出と様々な理由でアート体験の機会に恵まれない子どもたちへのプレゼントの二つの目的達成を目指す。	通年	―	222	―	来場	―	寄付者　9 参加者　13	222	85	71	支援者（寄付していただける方）の拡大に努めるとともに、鑑賞事業を増やす試みが必要。会館事業だけでなく財団全体事業を対象とする取り組みを検討したい。
12	自主	【地域活動支援事業】 こども食堂フードパントリー事業	社会包摂 地域創生	空きスペースの地下食糧庫を有効活用し、とよたこども食堂ネットワークと連携して、市内全てのこども食堂へ提供された食材の一時保存を支援する。 今年度はこども食堂ネットワークの定例会に積極的に参加し「あしながプロジェクト」との連携を取っていく。	通年	地下食糧庫	102	―	来場	―	―	102	―	―	会館の遊休施設の活用に役立っている
13	共催	豊田市「こころの劇場」支援	事業協力	豊田市が小学6年生を招待し毎年実施する「こころの劇場」の開催を施設管理者として支援する。	7月22日	大ホール	―	―	来場	―	―	―	―	―	―
14	受託	映画文化醸成事業	地域創生	「文化の人づくり」をテーマにした映画製作を文化活動者と市民と市民文化会館等文化施設の3者を結ぶ接点として活用する。	通年	市内	2,000	受講生 30人	参加	30	子ども向け映画　83人 受講生 12人	2,000	0	1,964	こども向け事業として、キタラ映画館で「たべっこ動物　THE MOVIE」を開催。27組83人が映画を楽しんだ。映画館で初めての映画鑑賞のこどもたちもおり、新しい体験を楽しんだ。 フィルムクリエイターズでは、2チームで2本の短編映画を完成させ、豊田映画祭に出品することができた。
15	共催	開館５０周年記念事業	地域創生	文化芸術センター開館50周年を記念し「豊田市民文化会館50周年記念事業」を開催する。ゆかりの文化活動者、地域の文化活動者による芸能発表会、定点観測事業の資料の活用、市民による文化会館の思い出の募集などを行う。市民文化会館、文化事業課、豊田市文化振興課の3課から担当者を出して取り組む。	3月21日	市民文化会館全館	―	3,000	来場	3,000	5,600	―	―	―	会館の過去と未来に思いを馳せることをテーマとし「1日限りのテーマパーク」と銘打って会館全体を使い市民に楽しんでいただいた。過去の写真や未来のイラストを募集し、プロジェクションマッピングにも活かした。目標を大きく上回る来場があり、会館により親しむきっかけとなった。

※収支の差額は財団自己財源で調整

令和８年度　文化事業課　事業計画

【事業ラインナップ】※共催は豊田市との共催事業　　自主は財団自主事業（自己財源事業）　　【重点施策・日付順】

R8.5.10

No.	区分	事業名	重点施策	内容	今後（主に８年度）に向けた課題・取組み	期日（予定）	会場	予算（千円）	目標参加人数他（人）
1	共催	小倉百人一首かるた第65回全日本選手権大会・かるフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。また、気軽に楽しめるプログラムとしてかるフェスを同時開催する。	かるフェスの会場を買い物客の多い商業施設に変更することで、集客増につなげる。	４月26日(日)	名鉄トヨタホテルGAZA	2,085	かるフェス来場者200
2	自主	県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。８年度は幸田町開催。	開催内容や客層に合わせた、出演団体の選定をする。	9月27日(日)	幸田町民会館	70	出演１団体
3	自主	（新規） アジパラ事業（支援）	普及・啓発	アジア・アジパラ競技大会の豊田会場へ、国内外から訪れる観客へおもてなし事業を実施する。	運営主体者と連携し、文化団体へ活躍の場を提供する。	９月～10月	駅前周辺	―	―
4	自主	（新規） 国際の日（連携）	普及・啓発	TIA活動センター主催事業に、文化団体の出演や体験コーナーの設置などで連携し参加する。	運営主体者と連携し、文化団体へ活躍の場を提供する。	9月	駅前周辺	―	―
5	自主	第51回愛知県文連美術展（公募）	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る（文化団体出品協力事業）。		11月10日(火)～15日(日)	愛知県美術館	8	出展10
6	共催	（新規） 愛知県民茶会	普及・啓発	西三河部加盟の６文化協会が、合同でお茶会を開催し、茶道文化や県民文化の向上を目指す。	ホスト文化協会として、スムーズな運営と市内・県内に広く周知し、目標の集客を目指す。	11月15日(日)	文化会館・美術館・博物館	5,170	3,000
7	共催	（新規） 豊田市民美術展	普及・啓発	市民が日頃から取り組む創作活動の成果発表の場を提供するとともに、今後の活動の励みになるよう表彰を実施する。	これまでは、市が主体的に進めてきたが、財団として初めて携わるため、ノウハウを学ぶ。	11月21日(土)～29日(日)	文化会館	4,959	来場者4,000
8	共催	文化な日（旧おいでんアート体験フェア）	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	WE LOVE とよたとの同時開催による相乗効果が高められるように、集客できる仕組みや各団体への改善などを働きかける。	3月7日(日)	スカイホール豊田	4,432	参加者2,000
9	共催	（新規） とよた映画文化醸成事業	普及・啓発 人材育成	若者を対象に映画制作を通じた人材育成と子ども向けの映画祭を開催し、鑑賞の機会を提供する。	地元映画関係者、映画館、配給会社などと連携するため、事業計画に沿って進んでいるのか、状況を確認する。	通年	市内	2,225	合計70
10	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する。	社会とのつながりを意識したカリキュラムの見直しや修了生の活躍の場を検討する。	５月～２月 公演２月13・14日	文化会館 小ホール他	5,357	参加者23
11	自主	令和８年度豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化活動を通じ、業績を挙げた功労者を表彰する。	文化を広く捉え、多文化共生に業績をあげた功労者も対象となるよう検討する。	６月７日(日)	文化会館	1,470	来場者400
12	共催	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、県合唱祭、合唱大会出場のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	市内イベントなど市民向けの発表を精力的に実施するため、情報収集やPRなどに注力する。	通年 定演12月27日(日)	定期演奏会: コンサートホール	10,334	団員数120
13	共催	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	ここ数年団員数が増加傾向にある。その受け入れ限度をどうするのか。また、事務局の負担軽減について検討する。	通年 定演３月21日(日)	定期演奏会: 文化会館	31,688	団員数130
14	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	運営に携わるスタッフの育成と募集も含めた人材確保の検討をする。	５月～11月 公演11月22日(日)	文化会館	5,607	参加者35
15	共催	（新規） こどもアート縁日	教育	愛知県立芸術大学と協働で、子どもたちが楽しみながらアートに触れるイベントを開催する。	県芸側は、学生がワークショップを主体的に企画・実施するため、主催者としてマネジメントに注力する。	8月2日(日)	地域文化広場	843	400
16	共催	文化活動者派遣事業(アウトリーチ事業)	教育	小・中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する。	講師負担の軽減策検討および体験メニューの開発、申込校増への対応を検討する。	9～1月	市内各小中学校	1,778	延べ32校
17	共催	吹奏楽フェスティバル2026	教育	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する（支援事業）。	教師の働き方改革や部活動の地域展開など、環境の変化が大きいため、今後継続開催できるのかどうか注視していく。	11月2日(日)	文化会館	200	15校
18	自主	（新規） とよた食のまなびばプロジェクト	社会包摂	多様な講師が紹介する食文化や文化体験を通じて、豊田にある様々な国の文化に関心を持ち、この地域への愛着を育む。4回ワークショップ（座学・体験）開催。	ボランティアグループ「E-IFF」と連携して開催するため、事業の方向性や業務分担を丁寧に共有しながら進める。	8月～２月	市内	434	延べ50
19	共催	（新規） （仮）とよた芸術祭　準備	地域創生	令和10年度開催予定の芸術祭に向け、事業内容や芸術監督の選定など核となる部分を委員会形式で決定していく。		通年		0	―
20	自主	イルミネーションストーリー2026 inとよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う（支援事業）。		11月～1月	豊田市街地	30	―
21	自主	長谷法寿豊田芸術選奨受賞記念展・講演会	鑑賞	令和6年度芸術選奨受賞記念展・講演会を開催することで、広く市内外に受賞者・作品を周知し、文化の振興につなげる。		R8. 5月	文化会館	1,559	合計2,000
22	自主	（新規） 宇野マサシ豊田芸術選奨受賞記念展準備	鑑賞	令和９年６月に開催する記念展の事前準備（事業PRおよびその宣材収集、打合せなど）		通年		246	―
23	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、X、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	発信する内容やタイミングなど、より効果的な発信方法の検討と職員の意識づけに注力する。	通年		0	―
24	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催される文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報提供を行う	配布方法や配布先の見直し。また、閲覧方法の工夫を検討する。	季刊		3,098	4季各5,000部

No.	区分	事業名	重点施策	内容	今後（主に８年度）に向けた課題・取組み	期日（予定）	会場	予算（千円）	目標参加人数他（人）
25	自主	西三河部連絡協議会	貸館	西三河部加盟の９文化協会が、県民文化の向上と各協会の交流を目指し、芸能大会や展覧会を実施する。（輪番制）	今年度、西三河部の事務局を担当するため、加盟文化協会と適時連絡を取り、役割を担う。	４月21日(火)	豊田市	65	ー
26	自主	県文連総会	貸館	県内加盟の文化協会が、県民文化の向上と各協会の交流促進を目指し、各種事業を実施する。その内容を決定する総会に参加する。		５月29日(金)	名古屋市	40	
27	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	財源を見据えながら、事業実施者のニーズに応じた助成のあり方を検討する。	通年		640	応募12団体
28	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのＰＲ補助などを行う。		通年		0	ー
29	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。		通年		0	ー
30	自主	音楽練習場運営	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。		通年		201	特定6団体
	自主	（中止） 西三文協美術展	普及・啓発	県文連西三河部に所属する文化協会が、隔年で美術展を開催する	今年度担当予定だった西尾市が脱会したため、中止となった。				
	自主	（廃止） クラフト公募	普及・啓発	工芸作家と愛好家が一堂に会して作品発表を行い、活動の活性化と交流連携を図る（支援事業）。	隔年開催であるため、次回開催は令和９年度予定				
	共催	（廃止） とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など将棋の普及を図る機会を提供する。	20年間、普及を目的に実施してきたが、将棋ブームや他市でも同様の大会など開催しているため役割を終えたと考える。また、市外参加者も多いため廃止する。				
	共催	（廃止） とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	これまで培ったノウハウや人脈を生かし、新たな事業へ転換するため、事業を廃止する。				
	共催	（廃止） とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。	これまで培ったノウハウや人脈を生かし、新たな事業へ転換するため、事業を廃止する。				
	自主	（廃止） 農村舞台アートプロジェクト2025	地域創生	農村舞台を会場として、シンポジウムとライブ公演を開催し、地元民と外国籍の方が文化を通じて交流を図る。	自己財源の減少により、継続実施が難しくなった。他の類似事業と統合し、農村舞台の活用を、継続できる可能性を模索していく。				
	自主	（廃止） とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する（支援事業）。	人材育成事業（演劇）の受け皿として、市内演劇人が中心となり10年実施した。主催者の意向もあり、区切りとする。				
	自主	（廃止） 村山哲豊田芸術選奨受賞記念展	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。	単年度開催のため				
	自主	（廃止） 豊田東名ライオンズ50周年事業	鑑賞	梯剛之ピアノチャリティコンサートの開催について、PRや当日運営の支援（支援事業）	単年度開催のため				
	自主	（廃止） 文化会館　開館50周年記念事業	貸館	文化振興課・市民文化会館・文化事業課で企画し、文化会館全館を使ったイベントを開催する。（協力事業）	単年度開催のため				

令和８年度　市民文化会館　事業計画

【事業ラインナップ】

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	今後の課題	期日	会場	予算（千円）	目標参加人数他
1	自主	新規【一般向け事業】 ディズニー・オン・クラシック	鑑賞	ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークなどの音楽を生演奏で贈るオーケストラ・コンサート。(株)中京テレビクリエイションと共催。	人気公演を身近な場所で鑑賞できることがこの企画の魅力。なじみのあるディズニー音楽でホールで実演を鑑賞することの魅力を感じてもらいたい。	6月27日	大ホール	178	1,600
2	自主	【こども向け事業】 劇団四季ファミリーミュージカル	鑑賞	劇団四季の提供するファミリーミュージカルの公演。費用対効果を上げるため、豊田市、劇団四季、財団と三者契約のうえ「豊田市こころの劇場」と同演目を2日連続開催。	鑑賞者が、ホールやホール公演の愛好者へとステップアップしていけるとよい。また、豊田市及び近隣で演劇公演等の公演が頻繁に行われるような誘致にも注力する必要がある。	7月20日	大ホール	4,994	1,000
3	自主	【演芸・芸能事業】 とよた寄席	鑑賞	東西の人気落語家による落語会。市内の落語愛好団体と共働で開催する。	当館主催では稀有な市民団体との連携がある公演を市民団体と今後も継続するのか、市民団体の手に委ねるのかタイミングの見極めが必要。	1月	小ホール	1,509	300
4	自主	【地域記録事業】 とよた定点観測	地域創生	４月１日に定められた場所でのビデオ撮影や、年間を通して定められた場所で写真撮影を行い、豊田市の変遷を記録する。	記録のアーカイブ化や具体的な活用方法を検討する必要がある。 個人情報保護の観点から展示・公開を前提にした撮影をする必要がある。	映像：4月1日 写真：通年	映像：豊田市駅周辺 写真：市内各所（定点）	100	ー
5	自主	【市民参加事業】 （仮称）チャリティ作品展 ※　休止	社会包摂	豊田市を拠点に活動するアーティストから提供されたアート作品の展示即売を実施し、その収益を社会福祉のための寄附に充当する。 豊田市文化団体協議会の協力を得て実施する。 ※　休止	チャリティの方法や寄付先を福祉にこだわらず寄付先を作家や購入者が選べるなど、社会包摂事業へ拡大していく等、文化芸術を活かした社会貢献への変化を検討したい。 （寄付先の例：社会福祉協議会、こどもアート体験プロジェクト、こども食堂、UNHCR、Unicef等） チャリティイベントでの経費の取り扱いについて出品者と事務局で認識の相違があり、運営方針をよく検討する必要がある。　⇒　**協議の結果、令和8年度は休止**	休止	休止	464 執行しない	休止
6	自主	【施設利用推進事業】 舞台お困りごと相談窓口	利用促進	初めて（久しぶりに）施設を使う人、利用を考えている人の背中を押す事業。事業実施迄に必要な内容（施設使用料金・企画・申込み・打合せ等々）のアドバイスやノウハウの提供、施設見学をパッケージして利用者の支援をする事業。	毎月機会があることを活かし、タイムリーに主催者の疑問解消を実現したい。時間の制約はあるが、実際に舞台に物を並べてみる、設備を動かしてみるなど普段の下見打合せではできないことを試すことができ、現利用者を含むニーズのある人にアピールし、この機会を活用してもらいたい。	通年	ー	4	72件
7	自主	【施設利用推進事業】 げきじょうたんけんツアー	普及・啓発	文化活動の拠点施設の「うらがわ」を子どもたちに体験してもらうミステリーツアー。会館の裏側を探検する機会を通して、舞台芸術の現場やそこに携わる仕事の数々をこども達が知る機会とし、こども達が自らの将来を考える上で選択の幅を広げるきっかけとしたい。	親子向け事業として実施するが、大人向けのツアーや学生・高校生のインターンシップや中学生の職場体験とのコラボも考えていきたい。また、より多くの方に参加していただくために回数を増やすことを検討する。	9月・1月	ー	187	各回10組
8	自主	【鑑賞機会創出事業】 とよた☆あしながプロジェクト	社会包摂	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供し、家族のコミュニケーション機会の創出と様々な理由でアート体験の機会に恵まれない子どもたちへのプレゼントの二つの目的達成を目指す。	支援をする側（寄付者）の拡大に努め、劇場を通じて行われる社会貢献の形・機会を広く市民に周知したい。また、他団体が実施する親子支援事業と連携し相互協力し、より広い支援の輪を構築する必要がある。 フードパントリー事業でつながりのある子ども食堂ネットワークを活用したPRを強化する必要がある。	通年	ー	136	ー
9	自主	【地域活動支援事業】 こども食堂フードパントリー事業	社会包摂 地域創生	空きスペースの地下食糧庫を有効活用し、とよたこども食堂ネットワークと連携して、市内全てのこども食堂へ提供された食材の一時保存を支援する。 今年度はこども食堂ネットワークの定例会に積極的に参加し「あしながプロジェクト」との連携を取っていく。	こども食堂運営の支援を通して、支援のニーズを把握し、必要な支援と劇場が出来ることを結びつける。	通年	地下食糧庫	0	ー
10	共催	豊田市「こころの劇場」支援	事業協力	豊田市が小学6年生を招待し毎年実施する「こころの劇場」の開催を施設管理者として支援する。		7月21日	大ホール	―	ー
11	受託	【市民交流事業】 つながリビング事業	地域創生	館内カフェのフリースペース「つながリビング」を活用し、交流を創出するワークショップや展覧会、ミニコンサート他を開催。会館事務局の企画、市民の企画、カフェの企画で多様な内容を提供する。	ホール利用の無い週末や祝日、平日に来館者を増やす工夫や企画を開発・試行を繰り返し、定番の企画を増やす必要がある。 飲食目的の来場者にも楽しんでもらえるカフェ営業時間内の企画と、営業時間外に会場を占有する企画に色分けすることで、それぞれのニーズに応えられる運営方法の確立が必要。 「会館に行けば何かやっている」と言えるくらいの賑わい創出につなげたい。	通年	つながリビング	652	950